

平成13年第4回定例会 札幌市産業振興センター 条例案などを可決

平成13年11月28日から12月12日まで開かれた平成13年
第4回定例会の概要などをお知らせします。

編集 札幌市議会事務局 ☎211 3162

市議会ホームページアドレス <http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

の規定を整備するとともに、新たに南区にすみかわ地区センターを設置することに伴い、その名称と位置を定めるものです。

札幌市産業振興センター条例案

本市産業の振興を図る中核拠点施設として、白石区東札幌地区に札幌市産業振興センターを設置し、その管理運営などについて必要な事項を定めるものです。

このほか公益法人等への札幌市職員の派遣等に関する条例案など合計二十七件が可決または同意されました。

また、人権擁護委員候補者推薦に関する件については、推薦することを適当と認めました。

可決された意見書案

薬害ヤコブ病問題に関する意見書

骨髄バンクの利用にかかわる医療保険の適用を求める意見書

医療保険制度改革に関する意見書

ワークシェアリングの導入に向けた取り組みに関する意見書
牛海綿状脳症（狂牛病）対策の強化を求める意見書

代表質問から

本定例会では、十一月五日から三日間の日程で、よこしまつゆめ横山光之議員、ふじのり藤原廣昭議員、みづえい三浦英三議員、あちあち岡千陽議員、あだひら恩村一郎議員、まつたけ松浦忠議員が代表質問を行いました。
その中から主なものをお知らせします。

教育問題

問 平成十三年四月に「公立義務教育諸学校の学級編制および教職員定数の標準に関する法律」が改正され、各都道府県は、特に必要があると認める場合、一学級の児童生徒の数について、国の定める標準を下回る基準を定めることができるようになった。本市としても、少人数学習の積極的な推進に向けて検討する必要があると考えるが、いかがか伺いたい。

成人の地域健康づくり

問 地域健康づくりモデル事業では、参加者百三人のうち三十四人に歩行歩数の改善などが見られ、その生涯医療費軽減効果は約二千万円と試算されており、成人の地域健康づくりが医療費軽減効果を生んだ大都市初の実践事業として高い評価を得ている。この成果を踏まえ、新年度の全市展開をどのように考えているか。

答 本市では、文部科学省の「第七次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画」に基づき、平成十三年度は小学校に百八十三人、中学校に百十人の教員を加配し、少人数指導やチームティーチングなどの指導方法の工夫改善に取り組んでいるところである。

また、少人数指導は、平成十四年度より全面实施となる新学習指導要領の趣旨を実現する観点からも大変有効な指導方法の一つであると考えている。

従って、基礎学力の向上と、きめ細かな指導の充実を目指し、少人数指導の積極的な推進を図り、実践を積み重ねていきたい。

可決された議案

一般会計補正予算

総額二十一億三百七十七万円を追加するもので、主な内容は次の通り。新たに補助の見通しを得た保育所の新設、学校の情報教育設備の整備、消防車両の更新。市営住宅や学校の修繕、各種公共施設の改修など緊急性が高い小規模

工事、さつばる雪まつり会場特別警備事業などにかかわる事業費、生物剤などに対応するための化学防護服などの整備費など。職員の給与改定にともなつ減額補正など。

区民センター条例の一部を改正する条例案
区民センターなどが生涯学習の関連施設であることを明確にするため、その設置目的